

Heroines Nightmare シルビア編 ～全ては貴方と私のために～

【注意事項】

- * このシナリオは原本です。声優や編集への指示は削除しております。
- * 実際の台本とは細部が異なります。
- * 台本の全て、一部に関わらず、トレースや無断転載は厳禁です。

トラック 1: 欲求不満な SEX

ふーーー♪

ふふ、びっくりした？だってボーっとしてるんだもの。ついからかいたくなっちゃって♪
明日のデートコース考えるってスマホ開いたんでしょ。早く検索しましょうよ。

私、この間テレビでやってた…何て言ったっけ…ほら、あの一つ星がついたっていうレストラン！あそこに行きたいわ。ちょっとお値段は張っちゃうけど…

でも、ね？折角の記念日デートだもの。

こんな時くらいケチケチしないでお金使いましょ♪

それにしても…もう明日で付き合って2年になるのね、私達…

え？キスするの？もお…ふふ♡

んっ…ちゅ…ちゅ…ちゅば…ちゅ♪ はあ…んっ…ちゅ…ちゅ…♪はあ…

もう…んっ…ちゅ…ちゅ…ちゅば…んっ…ちゅ…♪好きよ。ふふふ…

ちゅ…ちゅぷ♪ちゅ…ちゅ♪んっ…？

あ…舌…入れるの…？んっ…でもんっ…んっ…んっ！ぐちゅ…ちゅば…

はあ…はあ…んちゅ…ちゅぶ…れろお…れるれる…ちゅば…ちゅっちゅうう…んっ…！ん！

もお…もお終わり…！んちゅ…れろ…これ以上はダメよ…んっ…ちゅ…

そんなことしたら…また…んっ…じゅる…じゅっ…んっ…ぺろ…ちゅ…ダメ…ちゅば…エ
ッチな気持ちになっちゃうでしょ…んっ

ちゅる…ちゅば…くちゅ…ちゅぷ…ちゅっぷ…んん…んん…んん！ぷはっ…

もお…！ほら…もうそんな息切らして…エッチな顔して…

これ以上は…んんっ…ちゅ…れろ…ちゅば…ホントに…はあ…ダメ…！だめよ…！

んんっ…んちゅ…ちゅば…ダメだってば…！んっ…ちゅば…！ぷはっ…

んもう、わかってるでしょ…？私は特殊な体質なんだから…！

貴方は私の粘膜に触れるだけで、エッチな気持ちになっちゃうの。

それに、私とエッチなことしたら、貴方はまた…おかしくなっちゃうのよ？

初めてエッチしたときのこと、忘れちゃった…？

お薬でもキメたんじゃないかってくらい体が敏感になって、頭真っ白になって、

エッチ以外のこと何も考えられなくなって…失神するまで貴方ってばイキ狂ってたのよ？
私の声も届かなくて…狂ったみたいに腰振ってて…
何がなんだかかわかんなくて、怖かったんだから。
もう朝起きたら病院、なんて嫌でしょ？
私も職場の病院に彼氏が来るってちょっと複雑だし。
お友達の看護師さん皆に心配されちゃうから…説明にも困るし…ね。
だから、キスは粘膜に触れないくらいじゃないと…
今は少しくらいのべろちゅーならギリギリ大丈夫かもしれないけど…
あんまりすると、エッチな気持ち、抑えられなくなっちゃうから…ね？
んっ…ちゅ…ちゅ…ごめんなさい…こんな体質で…んっ…ちゅ…ちゅば…
いつも我慢させてばかりね…んっ…ちゅ…ちゅば…あれ以来…私の中には…入れられてないものね。こんなに…大好きなのに…ちゅば…ちゅ…ちゅ…ちゅう…ごめんね…ちゅば…

はあ…でもホントに…この体質何とかならないのかしら…
この男性を『魅了』しちゃう特殊体質…。
あの時見て下さったお医者様に『ヒロインズ』に入ることを勧められたけど…

もう『ヒロインズ』に入って1年…か…
確かに『魅了』の力をバトルコスチュームに変えて力を発散したり、
敵と戦うことで力を消費するから普通のキスや少しくらいのべろちゅーくらいなら平気にはなったけど…舌を入れるキスで…もうこんなにおちんちんが固くなってる…
目もトロンとしてるし…
まだ私の中に入れてのセックスは難しそうね。ごめんなさい…

私だって…重なりたいのよ、すごく。貴方と一つになりたい。愛し合いたい…
でもあんな…失神するまでイキ狂う貴方を見るのは怖いし、辛い…
今は…違う形のエッチで許してね…んっ…ちゅ…ちゅ…ありがと…
きっと…ちゅば…んっ…ちゅ…このままヒロインズで戦い続けていれば…ちゅ…
少しずつ、貴方と交われるようになっていけると思うから…ちゅ…ちゅば…んっ…
はあ…
ねえ…ぎゅってして…いい…？んっ…
大好き…大好きよ…大好きなの…
貴方のことが好き…。貴方のことしか考えられないの…
好きよ…大好き…
ごめんなさい…いつも我慢をさせて…
エッチ…したいわよね。中に…入れたいわよね。

なのに私のこと考えて…我慢してくれて…本当にありがとう。
貴方みたいな優しい人が彼氏で…私、本当に幸せよ。

でもね…怖い。

いつまでも中に入れるエッチができない私のこと、貴方は嫌いになっちゃうんじゃないかって…。いつか貴方が…普通にエッチができる…他の女の人を好きになっちゃうんじゃないかって…

不安で不安で…押しつぶされそうなの…

私のせいなのに…私のせいだから…どうしていいかわからなくなるの…

貴方のことを思えば別れた方がいいのかもしれないとも、何度も考えたわ。

だって、私と付き合っているけど我慢させるばかりなんだもの…

でも…貴方が好きで…好きで…大好きで…

離れたくなくて…ずっと一緒にいたくて…我慢ばかり…させてる…。

ホントに…ごめんなさい…。

…髪、撫でてくれるの…気持ちいい…。ありがとう…

貴方は本当に優しいんだから…。私にはもったいなすぎるわ…

本当に好きよ…大好き…

くすっ…ありがとう。こんな私でも好きでいてくれて…ホントにありがとう。

んっ…ちゅ…ちゅ…ちゅば…れろ…

おちんちん、まだ治収まらないわね…少しだけ…する？

中には入れられないけど…いつものエッチなら…いいわよ。

あ…まって、変身…するから。

ヒロインズのバトルコスチュームで魅了の力を発散しながらじゃないと…危険だから。

あ、あっち向いてて。あまり変身するところは見られたくないから。

…もう、いいわよ。

ん…あんまりじろじろ見ないで。

もう何度も見てるでしょ？バトルコスチューム…

…この格好も結構好きって…もお…。ふふ。まあ好きなら…いいんだけどね。

くすくす…貴方ってばちょっとマニアックなんじゃない？ふふふ…

ほら、じゃあおちんちん出すわよ。

もう…すぐおっきくしちゃってる…でも、もう少し硬くなるのかな？

手で軽く扱いてあげる。

手袋のまま握って…んっ…手袋ごしにも伝わってくる…

熱くて…固い…んっ…

んっ…んっ…んっ…

くちゅ…くちゅって…音がしてる…気持ちいいの…？
聞くまでもないわね♪お顔、蕩けちゃってる…
んっ…んっ…んっ…
ふふふ…お口の端が緩んでるのよ
んっ…んっ…んっ…
んっ…んっ…んっ…
あら…？先っぽから我慢汁が出てきたわ…とろーって…ほら、つん…って触ると…
つーって糸引いてる…ふふふ…
んっ…んっ…んっ…
んっ…んっ…んっ…
んっ…んっ…んっ…
お口、半開きよ？どうする？このまま出しちゃう…？
んっ…んっ…んっ…
んっ…んっ…んっ…
あら、まだ我慢したいの…？ ふふふ…別にいいけど…このまま手コキでいいの…？
んっ…んっ…んっ…
それとも…いつもみたいにおっぱいで…する？
んっ…んっ…んっ…
え…？私のおまんこに擦り付けたいの…？でも…
レオタードの上から…んっ…それなら…大丈夫…かしら？
でも…その、えっちな…ね、お汁が…その…出てきたら…
そ、そうよ、愛液…。愛液も…沢山『魅了』の力が含まれてるから…危険かも。
少しでも湿ってきたら…おっぱいでしましょ？
う、うん、パイ…ズリ。んもお、いちいち言わせないでよ…
そういうエッチな言葉…言うの…恥ずかしいんだから…
ここれでいい…？こうして寝転がって…
え？もっと股を開くの？
は、恥ずかしいわね…んっ…こ、こう？
うん…いいわよ、好きに擦り付けて。
ど、どこにつて…っ…ま、またそうやってエッチな言葉を言わせようとするんだから…
んもお…くすっ…やっぱり貴方ってちょっとマニアックよ…ふふ♪
お、おまんこ…よ。これでいいでしょ？ おまんこに…擦り付けていいわよ…
あっ…ん…んっ…ふふ…んっ…こうしてると…んっ…まるで正常位でエッチしてるみたい
…んっ…んっ…はあ…どう？気持ちいい…？ ふふ、それならよかった…
私も、気持ちいい…わ、んっ…はあ…んんっ…はっ…あ…んっ…
レオタード越しでも…んっ…貴方のおちんちんの熱さ…すごく…んっ…わかる…

はあ…はあ…っ…すごく…固くて…んっ…くっ…おまんこ…ごしごししてくるの…あっ…
はあ…はあ…んんっ…あ…貴方のおちんちんと…レオタードの摩擦で…んっ…あ…
すごい…これ…あん…！すごく…感じちゃう…っう…はあ…んっ…ん？
んっ…ちゅ…れろ…はあ…擦り合わせながらのキス…きもち…んっ…ちゅ…ちゅ
ちゅば…れろ…ぐちゅ…♪はあ…はあ…！すごく…いいわ…♪んっ…きもち…あっ♪
ちゅ…ちゅ…ぐちゅ…れろお…れろ…あ…あんまり長くしちや…ちゅ…らめよ…んっ
ちゅるる…ちゅっちゅ…ちゅ…♪はあ…大好き…大好きよ…♪んんっ…
あ…おっぱい…にぎにぎしちゃうの…？んっ…はあ…んん…
ちゅ…私のおつきなおっぱい…きもち…？んっ…ちゅ…ちゅ…ふにふにしながらおちん
ちんおまんこに…こすこす…ちゅば…れろ…あん…！乳首くりくりしながら…ダメ…！
気持よくて…あっ…いっちゃう…はあ…ちゅ…ちゅば…れろお…イク…イクう…♪
ああああああ!!んっ…やあん…軽くイッちゃった…ああ…♪
これ…気持ちよすぎる…んんっ…ちゅば…ちゅば…ん？はげし…らめ…ダメよお…
そんなにおっぱいぶるぶるしちや…あっ…ちゅ…ちゅば…れろ♪あ…は…んんん…
んっ…んんんっ…！んぐ…ちゅ…じゅぶ…じゅぶ…ちゅっちゅ…
はっ…ちよ、ま…キス、激し…じゅっ…じゅっぶ…んんんんんんっ！
そんなに舌を吸っちゃ…ダメ…んっじゅるる…唾液も…舐め過ぎたらまたっ…
また、魅了の力でおかしくなっちゃうからっ…あっ…じゅるる…じゅぶ…んんんんっ…!?
まさか…あっ…しまっ…ンぐっ…じゅるる…ぶはっ…！
ちょっと待って…！もしかして…愛液がおちんちんについて…
ちょ…ダメ、放して…！あっ…！ダメ！それ以上擦り付けちゃ…
あっ…あ！待って！入れちゃ駄目…！中に入れちゃ駄目…！分かってるでしょ?!
き、聞こえてないっ…ひあっ…ダメ…んっ…腕を押さえつけないでっ…！
んんん～～～じゅぶ…じゅぶ…ちゅ…じゅるる…んんんっ…！んんんんん！ぶはっ…ダメ
よ…！入れちゃ駄目っ…中に入れたらっ…ふあ…だめ…だめえ…押し当てちゃ…おまんこ
に直接押し当てちゃ…ダメっ…ダメ…！あああああ！入っちゃう…！
駄目よ…ダメよお…！私の中に入っちゃ…ダメ…だめええ！
あっ…あああっ…ふあああああああああああ！
あああ…はあ…はあ…はい…っちや…た…んく…ああ…中でビクビクして…
ひぐっ…う、動いちゃ…ダメ…！あっ…だめえええ…！あぐっ…そんないきなり奥までっ
んっ…！んん…！んんっ！あああ…！ダメよお…魅了の力に負けちゃ…
駄目…ダメ…！あっ…あああ！ダメ…いくう…！こんなにっ…激しくされたらっ…
子宮口ばちゅばちゅされたら…ダメ…！あっ…ふあああああああ!!!
ああああああ…ダメ…イッてるのに…激しく動かすの…だめっ…ひぐっ…はあ…！
はぐう…！ひあっ…むり…むりい…！お腹が壊れちゃう…！
正気に戻ってっ…！はぐ…んっ…あつと…ああ！ふああ！あああん！

ダメ…抜いて…！ダメよ…これ以上はあっ…ひあああああ！またイク…いっちゃうのっ
駄目っ…だめええ！あああああああああ！

あっあっああ！もう…ゆるしてえ…！正気に戻ってえ…！っ…んぐ…！ひああ！

イッてるのに子宮に…ひぐっ…おちんちんぶつけるの…！ぐう…やめてえっ！

あああ！中で…中でおちんちんおっきく…ダメ…ダメダメダメ！射精は絶対だめえっ…！

中に出したらっ…ああっ！あっ…あっ！中に出したら…！精液入れたらっ…んぐっ…ひっ
魅了の力が強まっちゃうからあっ…！あっ…あ！あ！もっと…狂っちゃうううう！ふあっ
また…あっ…！あ！あ！らめ…らめえっ！んぐ…ひぐっ…あ！あ！あああああ！

ひあっ…！あっ！あっ！あっ！あっ！あっ！ダメ…だめ！出しちゃ駄目！

いあっ…イキたくないのに…イッたら膣でおちんちん絞っちゃうのに…！

体が…いうことをきかなっ…ひっ…あっあっあっ！イク…イク…イク…イっちゃううう…
いやあああああああああ！ふあっ…あああああ！射精だめえええええ！いやあああ
ああ…びゆるびゆる…出てる…ああああああ…！

あっ…ああ…はあ…はあ…はあ…おねが…っ…も、やめ…あっ…あゝ あああ!!

んんんんっ…！ああ…イッても萎えない…！魅了の…っあ…！力のせいでっ…

ひあっ…そのまま…やあああああああ！もう…！ダメ…！あっ…あっ…

これ以上したら…貴方…廃人になっちゃうからあっ…！ふああっ…らめ…

やだ…力…はいらな…ふぐっ…あああっ！あああああ！やめ…やめてえ…！

くっ…ごめ…ごめんなさい…！貴方にっ…こんな…力、使いたくなかったけど

ふああああ…！ぐっ…これ以上は…ダメ…！私も貴方もこわれ、ちゃう…！

うぐっ…くうう…こ、言霊で…！ね…『眠りなさい』

はあ…はあ…はあ…っ…く…あ…はあ…はあ…はあ…んっ…はあ…

ごめ…ごめんなさい…ごめんなさい…

貴方をまた…こんな風に…しちゃった…っ…はあ…はあ…はあ…

はあ…はあ…ごめん…ごめんなさい…

大好きなのに…こんな…っ…はあ…はあ…ちゅ…ちゅ…ちゅ…

こんな体で…ごめんなさい…

貴方と…交われる体になりたい…

貴方を…求められる体になりたい…

貴方に…全部全部愛してもらえる人になりたい…

ごめんね…ごめんね…ごめんなさい…

トラック 2: 病院での朝

…おはよう。目が覚めた？
無理しないで。まだ頭が重いでしょ。
検温だけしちゃうから、そのまま体温計を腋に挟んで。
ん…と、うん、平熱ね。よかった。
覚えてる？昨日のこと。
…でしょうね。魅了の力でわけわかんなくなっちゃったものね。覚えてなくて当然よ。
久しぶりね、こうなっちゃったのも…
半年ぶり、くらいかしら？
やっぱりまだその…あ…愛液がおちんちんについちゃうのは…ダメみたいね。
ホントにごめんね…
先生はいつもの…ほら、ヒロインズに私を斡旋してくれた先生が見て下さったわ。
お願いしに行ったの、あの先生じゃないと原因不明でいろんな検査されちゃうからね。
とりあえず、いつもの点滴をしてもらったわ。過剰に出過ぎて興奮系のホルモンを抑える薬と安定剤。あと、興奮しすぎて熱が出てたから、解熱剤も。
まだしばらくは魅了の効果が消えないだろうから性的な好意は1週間程禁止って言われたわ。今また新しい刺激があると、今度は1日の入院じゃすまないって
…はあ…本当にごめんね。
とりあえず、点滴が丁度終わったし…外すわね。
ん？…どうしてそんな顔してるの？ どこか痛い？

あ…もしかして、記念日にこうなっちゃったこと…気にしてる？
やっぱり。ふふ…♪そんなこと気にしないで。
もともとこんな体質の私が悪いんだし…
それに結局レストランも予約してないからキャンセル料もいらないし！
節約できて…逆によかったのかも。高かったものね、あのレストラン。
いくら記念日だからってちょっと豪華すぎるかなーって思ってたし！
また落ち着いたら振替で記念日のお祝いしましょ♪
その時はもうちょっとお手頃価格なレストランで美味しそうなところ一緒に探すかー…
そうね、私が腕を振るって美味しい料理を作るっていうのもいいかも！
看護師の仕事は夜勤も多いから手料理あんまり披露してあげられないものね！

あとはB級グルメ食べ歩きとかも悪くないかも？
もしくは温泉に小旅行とか！
うん、今日行けなかった分、ゆっくり考える時間ができてよかったのかもしれないわ！
…あ、いけない！もうこんな時間！
ナースステーションに戻らないと！朝の会議があるのよ。
あ…病気ってわけじゃないし、楽になったらお散歩くらいなら行ってもいいわよ。
ただし、勝手に病院の外に出ちゃ駄目だからね。
入院患者さんが病院外に出るときは、外出許可がいるから。
あと、前に入院した裏の東病棟は取り壊し予定だから立ち入り禁止よ。
立ち入り禁止の看板があるからわかると思うけど…間違っただけ入らないように気を付けて。
じゃあ、私は行くわね。また見に来るから、ちゃんとして休んで早く元気になってね！

トラック 3: リディアVSシルビア

…あら？ 何かしら？ 今…もしかして私に声をかけた？
その恰好…この病院の入院患者さん？ 私に何か御用かしら？
ああ、もしかしてここが立ち入り禁止区域だから止めてくれたの？
ありがとう…立ち入り禁止なのはわかっているのだけど…
少しこの東病棟に用事があってね。
もうすぐ取り壊し予定って風のうわさで聞いたから…
くすっ…病院の人には内緒にしてくれるかしら？
…あら…ついてきちゃったの？ だめじゃない、立ち入り禁止区域に入っちゃ(笑)
私は見つかってても平気だけど、貴方は…やめておいた方がいいんじゃない？
担当の看護師さんにこっぴどく怒られるわよ？
心配だったから…？ ふふ、優しいのね。
でも、知らない人についていっちゃ駄目って、子供のころに習わなかった？
それも立ち入り禁止の場所に堂々と立ち入る人なんて、わる〜い人に決まってるでしょ？
ほら、帰りなさい。今なら見逃してあげる。悪いお姉さんにこわ〜いことされないうちに病室に戻ることをお勧めするわ。
…どうしてそんな心配そうな顔をするのかしら？ ああ、なるほどね。
取り壊しになる病棟の5階、部屋の窓を開け放って外を眺めると飛び降りようとしているようにも見え無くわないわね。大丈夫。そんなことするつもりないから安心しなさい。
ちょっと…思い出に浸って頂いただけよ。昔の…つまらない思い出にね。
ほら、あと30秒だけ待ってあげるから出ていきなさい。
…心配してくれるのは嬉しいけれど、あんまり優しくすると…食べちゃうわよ♪ふふ…

あら、冗談じゃないわよ(笑) 貴方結構私好みの体と顔、してるしね♪

…え？ 何？ どうしたの…？

…どうして手を掴むのかしら…？私は出ていきなさいって言ったんだけど…

え…？ 何となく雰囲気は彼女に似てて放っておけない…？ 寂しそう…？

ふふふ、何それ。口説いてるつもり？

でも彼女と雰囲気が似てる、なんて口説き文句はどうかしら？

くすくす…うーん、あまりトキメかないわね(笑)

どうせなら、彼女より好みです、って言って欲しいわ、なーんてね(笑)

彼女が寂しがってるなら、彼女のところにいってあげた方がいいんじゃない？

こーんな見ず知らずのお姉さん心配するより…ね？

…さ、もう時間切れよ。手を離して病室に戻りなさい。

…意外と頑固なのね。いいわ。なら…私の忠告を聞かなかったこと、後悔させてあげる。

彼女がいるのに他の女の心配なんかしてるからこうなるのよ…

んっ…

はぁ…ふふ、随分敏感ね？耳だけでこんなに感じちゃうなんて…性欲、溜まってるんじゃないの？じゅぷ…ぺろ…

あらあら…これくらいでズボン…テント張っちゃって…は や す ぎ♡

ふふふ…ほら、勃起したおちんちん…服の上からすーって撫でてアゲル…んっ…すすすー
すごい♡ ビクンって…ちょっと感じすぎじゃない？ もう顔も赤いし息も荒い…

目がとろんとして…したそう♡ 敏感ね…こんなに敏感な人、久しぶりよ…♡

たまらないわね…

…あら…イヤイヤして…抵抗？抵抗してるの？それ…抵抗になってないけど(笑)

何？彼女に操をたててるの？

ふうん…そう。今日のは彼女との記念日なの。だから何？

彼女以外にはこういうこと…されたくないって言いたいなの？

こんなにトロトロに蕩けた顔してそんなこと言っても…説得力ゼロよ？

それに私…そんなこと聞いたら余計に燃えちゃうわ。

貴方だって…彼女との記念日に他の女の人にされる…何て背徳感が凄くない？ふふふ…

んふ…これだけでもう腰砕け？ 感度高すぎでしょ？

ほら…丁度ベッドもあるし、ここに横になって。彼女じゃ味わえないほど…気持ちよくしてあげる…♪ふー…♪

何？まだ抵抗してるの？そんなお目目とろ～んおさせたまま、首を振っても…ダメ♪

おちんちんもおっきいままだしね？

ほら…ズボンとパンツもずらしてあげる♪

ほら、おちんちんぼろ～ん…ふふふ…おっきくて立派なおちんちんね…

でも童貞じゃないのね。彼女もいるみたいだし…当たり前か♪
童貞でもないのにこんなに盛ってるなんて…可愛いわね♪
お姉さんが、可愛がってあげる♪ 彼女より気持ちよく…感じさせてあげる♪
じゃあまずはお口でおちんちんを咥えてあげるわね。
匂いを…嗅がせてね。おちんちんの匂いを嗅ぐの…好きなのよ。
すんすん…すんすん…あら…？この感覚…
貴方のおちんちんから発されてるこの力…魅了の力…？

…

な る ほ ど
坊やの彼女って…ヒロインズのヒロインなの…
ふーん…

でもこれだけの力は…

シ：はあ…はあ…な…何をしてるの…！

リ：あら…見つかったちゃった。

シ：その人を離して！何をやってるの！

はあ…はあ…彼は私の恋人です！こんなことして…どういうつもりですか？！

それにここは立ち入り禁止区域です！

リ：あらあら、ナースさんに見つかったと思ったら…まさかの彼女さん登場？へえ…
ここのナースさんだったの～…そう。じゃあこの魅了の力も貴女のものかしら？

シ：魅了の力…？貴女…いったい…

はっ…！貴女、どこかで見たことがあると思ったら…ダークローズの…リディア…？

リ：うふふ。正解♪ 貴女方ヒロインズの敵、ダークローズのトップ、リディアよ。

今日はオフの予定だったんだけど…まあ、いいわ。

貴女たち、随分と興味深いもの。このおちんちんについての魅了の力…随分濃いわ。

貴女、随分と強い【適正者】なのね。

シ：適正者…

リ：魅了の力を持つ女性のことよ。セックスをしたのは昨日？

それでこの彼は貴女の魅了の力にあてられて、入院してるってわけね。

シ：なっ…

リ：ヒロインズに入ってどれくらい？

シ：…な、何故貴女にそんなことを言う必要が…

リ：質問には素直に答えなさい？ 貴女の大切な彼氏くんは、私の傍にいのよ？

シ：っ…い、1年よ…

リ：そう。何度くらい戦ったのかしら？

シ：そ、そんなこと覚えているわけないでしょう？数えられる回数じゃないわ。

リ：そう。それだけ戦って力を消耗して…これだけの力が翌日も残り続けるの…

シ：…っ…な、何を…

リ：貴女、ダークローズに入りなさい。

シ：…な、何を言って…

リ：ヒロインズでいくら力を使っても、この彼氏くとともにSEXすることなんて
できるようにはならないわ。それくらい、本当は気づいているのでしょうか？

シ：…！そ、そんなことっ

リ：わかるのよ。私には。何年経ってもまともに交われるようになってならない。

まあ、20年も30年も経過観察したいなら止めないけれど…

そんな長期間彼には我慢させるの？ 待たせた末、交われないかもしれないのに？

シ：それはっ…

リ：貴女のために言っているのよ。諦めなさい。現実を受け入れた方が身のためよ。

何より…男がそこまで性欲を我慢できると思う？

シ：…え？

リ：数年くらいは愛の力で？(笑)我慢出来るかもしれないけど…

きっとフラストレーションは溜まり続けるでしょうね。

考えないわけじゃないでしょう？

彼氏くんが他の人を好きになる可能性、他の女の誘惑に負けて交わってしまう可能性

シ：っ…！

リ：そうよね、当然ある不安だわ。

リ：いくら愛し合っていても、いくら心が繋がっていても…体の関係が上手くいかなきゃ
長くは続かない…これはね、必然よ。

シ：そんな…こと…私たちはっ…

リ：そんなわけない、私達は絶対大丈夫…

皆そういうけれど、結局は破綻する。

2人で我慢を重ねて、お互いに最悪のENDを迎えるの。

当然よね？SEXを求めるのは本能なの。理性で抑えるにも限度があるもの。

貴女は彼と仲違いして終わりを迎えたのかしら…？

シ：そんなわけないでしょうっ…！

リ：そうよね。なら、ダークローズにいらっしゃい。

私の手をとって、ダークローズの一員になりなさい。

そうすれば…そんな最悪のENDから、貴方達を救ってあげる。

シ：どういうこと…？ 意味がわからないわ…！

リ：ヒロインズは元々ある魅了の力を使って減らして通常の女としての生活を取り戻す。

そういう考え方よ。それは、『魅了』の力が弱い子にはまあ、悪くない方法かしら。

でも貴方のように『魅了』の力が強すぎる子には向いていない…

もともと魅了の力が強すぎて、

通常の戦いやコスチュームに力を使うくらいじゃ減らないもの。

いくら戦っても…意味がない。

シ：…な…何を…

リ：ヒロインズの普通の子達はそんなシステムは何も知らないのでしょうね。

そもそも【魅了】の力で悩むことも少ないでしょうし…

ただ魅了の力を持っている【適正者】だと

ヒロインズのトップないしヒロインズの勧誘者に言われて、

悪の組織【ダークローズ】を倒すように命じられるだけ…

その過程で力を使って平穏無事に暮らす。自分たちは正義のヒロイン気取り。

シ：…

リ：ま、本人たちがいいのであれば、それはそれでいいのだと思うけど…でも

その方法って、自分にある力、もっといえば天性の才能、個性を殺すってことでしょ

自分の才能や個性を殺してまで相手に合わせるのって空しくないかしら…？

しかも、相手に合わせて力を無力化しても、その人が手に入るとは限らない…

なら、いっそその力を受け入れてしまえばいいと思わない？

シ：力を…受け入れる…？

リ：そう。『魅了』という力を持って生まれたことを受け入れて、その力で相手を

支配してしまうの…。そうすれば…ね？

お互い気持ちよくなれて…相手は『魅了』の力の主を裏切れなくなる。

『魅了』で意中の男を従わせるの。誰も傷つかない、何も失わない…

これってとても素敵じゃない…？

シ：本気で言ってるの…？そんなのただの奴隷じゃない…

自分の力で支配して言うことを聞かせるなんて…

リ：それはひどい偏見ね。

交わることで『魅了』という貴女の個性を猛烈に愛するようになる…

その結果、貴女の言うことをききたくてききたくて仕方なくなる…それだけのことよ

シ：詭弁よ！そんな関係に愛なんてないっ…支配なんて…！

リ：貴女の言う愛って何かしら？

SEXしなくてもずっと傍にいて、苦行のようにお互い我慢を積み重ねて育む感情？

それとも、我慢をさせていても好きでいてくれている、

そんな傲慢で自分勝手な感情を相手に受け入れさせて得る満足感のこと？

我慢を強いることは我慢を命じていることと同じではないの？

なら、それは…支配することとどう違うのかしら？

シ：そ…それは…っ…っ……っ！

リ：同じように支配するなら…お互いが幸せな方がいいでしょう？

シ：…っ…！

彼の意志がない状態で好きにするなんて…そんなの…愛以前に人間扱いじゃないわ！

魅了して彼の意志がない状態で愛されても…そんなのはっ…

リ：あら、それは誤解よ

シ：…え？

リ：彼氏君が貴女と交わると意識が飛んでおかしくなるのは、

貴女が力を持て余して制御できていないからよ。

貴女は大きな力を持っているけれど、制御するスキルがない。

シ：せい…ぎょ？

リ：そう。力をコントロールできるようになれば、

彼の意志を無くさずに交わることだってできるわ。

シ：そんなこと…

リ：できるわよ。貴女自身でコントロールすることは難しくても…私の支配下になれば。

私が貴女の魅了の力を支配して、内側からコントロールしてあげる。

そうしたら貴女もこの彼氏君も正気を保ったまま…交わることができるようになるわ。

シ：…っ…そんなこと…できるわけっ…

リ：なら、試してみる？貴女を私の力で魅了して…支配してあげるわ。

シ：っ！離れたわねっ

リ：あら、変身するの。私と戦う気？

シ：当然でしょ！彼にはもう…指一本触れさせないわ！

リ：ふう…人質から離れたのはミスだったかしら。

…ふう…今日はオフだって言ったでしょ。できれば戦うなんて面倒なこと、

したくなかったのだけど…。いいわ、相手をしてあげる。

そして負けたらもう一度考えてみることね。

…まあ、負けた時点で選択権はないかもしれないけど。

シ：…私はね…今まで一度もダークローズに負けたことなんてないのっ！

リ：…まあ、その魅了の力なら、そうでしょうね。貴女に敵う子はいないかもしれないわ

シ：ひれ伏しなさい！グラビティープレス！

リ：んっ…！重力系、ね。

予想通りの力…これだけの力を使っても魅了の力をほとんど消耗しないなんて…

やっぱり、すごい力ね、貴女。

シ：なっ…！ 私の攻撃が…ほとんできいてない…?! 膝すらつかないなんて…

くっ…もっと強く…！ グラビティープレス！

リ：ん…なるほどね。これで全力？

シ：な…何故立っていられるの…！ ぐっ…ううう…

リ：魅了の力の消耗は全然なのに、体力が持たなくなってきた？

当然よね。これだけの力を全力で出し続けるのは…途方もない体力を使うもの。

言霊で失礼するわ。『解放』

言霊で貴女の力の制御を狂わせられる程度ね。

リ：無駄よ。私の花びらからは逃れられない…

ああああああああ！ いやあ！ んぐう…っ！

シ：あああああっ…！ふあああああああ！

…より強い魅了の力に支配される体験をね。

ここで治療されてるってことは、今は…性行為絶対NGなんですよ？

体、動かないでしょ？　そこで大人しく見ていて頂戴。

リ：んー…そうね。いつまでも貴女って呼ぶのもなんだし…名前は？

リ：そう。なら結構よ。私が勝手に名前を付けてアゲル。

リ：今から貴女は私に魅了されてダークローズに入るのだもの。

シ：ふざけないでっ…そんなの…いらなっ…それに私はっ！

シ：ひあっ…どこに指を…やめっ…そこはっ…

シ：ひっ…あっ…やっ…! 膣の中っ…指入れちゃっ…あっ…ふぐっ…んっ…やっ…やめ…

シ：やめ…やめてえっ…！

シ：ふぁ…あああああああああああああつ!!!!!!

リ：ふふふ…力の強い貴女にはこれくらいの量を流し込まないと…ね。

シ：あああ…あつ…う…こ…こんな…ふうう…!!あつ…あああああ！

ほら…愛液が垂れて…おまんこがこんなにぐしょぐしょになってる…

リ：どお？これがいつも彼氏君が感じてる感覚よ？強い魅了の力で犯される感覚…どう？

シ：いや…いやああ…！ こんな…ちが…あああああ！ いや…疼く…何これっ…いやあ！

シ：はあ…はあっ！やあああああ！イクウウウウ！あああああああああ！

シ：ちがっ…ちがううう…はああ！ あっ…ああああ！

シ：ひぐっ…あああ！それ…ダメ…！だめええええええ！

リ：あらあら、ここ、とっても弱いよね。彼氏君、覚えておいてあげてね。

シルビアはこうしてずぼずぼ～って指でGスポット刺激されながら～
クリちゃん虐められるのが気持ちいいみたいよ

シ：やめてえええええ！見ちゃ…ダメ…！こんな…あああああっ！！

リ：ほら、彼氏君の前でお潮吹いちゃいましょ？ね？もう我慢できないんでしょ？
足をビクビクさせて体に力を入れて…ほらほら、いいのよ？我慢しないで…
彼氏君のおちんちんにかけちゃいましょうよ♪

シ：いや…いやああああ！そんなのダメえっ…ダメ…ダメダメえ！
ひあっ…クリトリス…くにくにくね回さないでえっ…ああああああ！
ダメっ…Gスポとの同時刺激ダメなのっ…出ちゃう…出ちゃう…
おしっこ出ちゃうううううう！うあっ…あああああああああああ！

シ：ああああああああ…あああ…ああああああ…はあ…はあ…はあ…

リ：うふふふふ…お潮吹いたの初めてなのね。
そうそう、お潮吹く感覚って、おしっこ出しちゃう感覚と変わらないのよね。
大丈夫よ、シルビア。あなたがまき散らしたのはお潮よ。クスクス…

シ：く…う…はあ…はあ…あああああ…やあああああ…

リ：あらあら…シルビアのお潮がおちんちんについちゃったわね。
おちんちん反応してガチガチになってる…はあはあ言って…
また頭おかしくなりそうね？でももう少し耐えてね…♪

リ：どーお？シルビア。私の魅了の力を受けての絶頂は…気持ちよかったでしょ…

シ：はあ…はあ…はあ…！うう…くう…う…こんな…の…はあ…はあ…

リ：あらあら、まだ足りなかった？

シ：うっ…

リ：ねえシルビア、衣装の色を見なさい。

シ：…何？これ…どういう…

リ：白の部分が濃い紫に…薄紫の部分の色が少し濃くなってきたでしょう？

それは私の魅了の力が貴女の中に入って…

シルビア、貴女が私に支配されているちいう証よ。

シ：なっ…うっ…くっ…！

リ：で？どーお？

シ：な、何がっ…

リ：私に完全服従したくなった？

シ：…そ、そんなわけないでしょっ…！

リ：ほおら

シ：…え？

リ：言ったでしょ？魅了の力を注ぎ込んだからって正気を失うわけではないって…

もちろん、意志を奪うほど強く支配することもできるけど…それも体験したい？(笑)

シ：ご、ごめんだわ…

リ：そう。じゃあ…

魅了の力を受けて支配されても意志を残すことはできることは理解できたでしょうし
ダークローズに入ることを断る理由はなくなったわね？

シ：…っ！それはっ…そんなこと…！

リ：私はね、シルビア

シ：ひっ…な…やめ…また膣に…指っ…

リ：貴女を助けたいの

シ：ひあっ…3本もっ…らめ…！いあ…！ああああ！入って…くる…うあ…指…らめえ！

リ：魅了の力に苦しむ女性を…

シ：いああああ…中…こすこすしないでっ…膣壁…疼くうううう！

リ：助けて…あげたいの♪

シ：ひあ…イク…またイク…イクうううう！あっ…あああああああああああ！

はあ…はあ…えうっ?!まだ…まだくにくに…いやあ…！もう無理…もう無理よお…！
こんなっ…こんな感覚…もうむりいいいいいいい！

リ：さあ、とんじゃいなさい♪

シ：ひっ…ふあっ…あゝ あゝ ああああああああああああ!!!はあ…はあ…はあ…

リ：…ふふ…気絶しちゃった♪やりすぎたかしら？

まあ、丁度いいわね。しばらく眠っていなさい。

さあ…じゃあ、次は貴方の番よ。

トラック 5: リディアの支配

お待たせしたわね、彼氏君。

ああ、大丈夫。シルビアなら気持ちよくなりすぎて気絶してるだけだから。

安心しなさい。

…ふふふ。シルビアのお潮がおちんちんにかかって…

その魅了の力で頭トビそうなくらい性欲爆発してるでしょうに…

その状態でまだ彼女の心配できるなんて、本当にシルビアのことが好きなのね、貴方。

素敵な関係ね…愛し合ってる。まさにそれを体現しているのかもしれないわね。

手でおちんちん…扱いてあげる。おちんちんについたお潮と…

私の手についたシルビアのおまんこ汁をおちんちんに塗り込むように…

くちゅくちゅ…ってね。

ふふ…どーお？気持ちいい？気持ちいいわよね？

たまらない…？たまらないでしょう？

ホントはダメなのにね…今エッチな行為しちゃ…お医者様に止められているものね…？
でも…こうしておちんちん握られて…くちゅくちゅ扱かれるのがすごくキモチイイの…
シルビアのお汁塗り込まれるのがとてつもなくキモチイイの…そうよね？
もうこんなに熱くて固いんだもの…我慢なんてできないわよね？
腰が浮いてる…目が裏返りそう…ふふふ…気持ちよくてしょうがないのよね？
もう精液…でちゃいそうなのよね？
ベッドのシーツぎゅって握りしめて耐えてるけど…もう…だ・め♪
イク…イク…いっちゃう…♪シルビアのことを応援していたけど…
心では応援していたけど…シルビアが気持ちよく感じる姿を見て…
興奮しちゃったんでしょ？ふふふ…大丈夫。それって全然悪いことじゃないわ。
だって、大好きな彼女が気持ちよくなって喘いでるところを見ると興奮するのは…
彼氏として当たり前でしょ？だから、いいの…シルビアが気持ちよくなったた
あの顔を思い出しながら射精しなさい♪
シルビアのお汁を塗り込まれながらおちんちんイキしなさい♪
どぴゅどぴゅって…気絶したシルビアに向かって精液飛ばしなさい♪
好きだよ～って…大好きだよ～って思いながらおちんちんから精液ぴゅっぴゅするの。
ほら…出して♪出して、ああ…シルビア…シルビア…僕のシルビア…！
出す出す出す出す、出る出る出る出る…はい、ぴゅぴゅぴゅぴゅぴゅぴゅぴゅぴゅぴゅ～！
…うふふ…すご～い♪濃いのでいっぱい出た…♪でもシルビアには届かなかったわね。
私の手にかかっただけ…ふふふ…これじゃ、ダメね？シルビアに全然届かない。
この貴方の愛のミルク…。ちゃんとシルビアに届けないと…ね？
れろ…ふふ…濃い魅了の味。貴方の体に溜まったシルビアの魅了の味ね。…おいしい…
手にかかった精液でもこんなにおいしんだもの…きっとおちんちんから吸い上げれば
もっともっと美味しいのよね？ふふふ…
シてあげる…お口で。
私のお口の粘膜を通して魅了の力を貴方のおちんちんに注ぎ込みながら…フェラ。
シルビアの魅了の力で敏感になったおちんちんに…私の魅了の力を注いであげる。

トラック 6: 『シルビア』救済のために

ふふ…怖い？私の支配を受けるのは。
そうよね…怖いわよね。貴方の彼女が今まで悪として戦ってきた敵に支配されるんだもの…
…怖いわよね。
でも…貴方には抵抗する術がない。抵抗できるとすれば…そうね
射精しないように我慢する…くらいかしら。
そうね。本当に私の支配を受けたくないと思うなら…射精を我慢しなさい。

最後まで射精しなければ、貴方の思いは私の魅了の力を凌駕したってことになるもの。
それはシルビアの魅了の力を自分の意志で跳ねのけられるということよ。
そんなことができたなら、シルビアと貴方への支配を解いてあげる。
だって私の力が必要ないのだから…言ったでしょ。今日はオフなの。
お仕事をする日じゃないから、ダークローズへの勧誘は諦めて、見逃してあげる。
どちらかという…今は慈善事業のつもりだから…。シルビアのための。
彼女を、今後待ち受ける『貴方に裏切られるという未来』から救うためのね。
私は自分を悪だとは思っていないわ。
魅了の力を持つ女性を救う、寧ろ正義のヒロインだと思っているわよ？ふふふ…
ま、理解はされないでしょうけどね。

さあ…じゃあ始めましょう？貴方のおちんちんを舐めて…しゃぶって…
私の…シルビアよりももっと強い魅了の力を注ぎ込んで…貴方を支配してあげる。
支配されたくなかったら…射精を我慢…するのよ？
はむ…れろ…
ほおら…背筋に電流が走るような感覚がくるわよ…
ずぞぞぞぞぞぞぞっ…じゅるるるるるるるる…
私の力が流れ込んでいく…
じゅぞぞぞぞぞぞ…おちんちんの奥まで…じゅるるるるるるるる…
悲鳴に似てるわね…その声…でも、じゅるるるるる…快感で震えてる声ね…
きもちいいでしょ…ゾクゾクするでしょ…
脳みそが焼ききちゃいそうなくらい…おちんちん感じるでしょ…
じゅぞぞぞおおおおお…じゅぷ…
ほおら…支配されていく…魅了の力がおちんちんから染み入って…
どんどん…どんどん支配されていく…ふふふ…
私はね…男なんて信用してないわ…
女は心の繋がりだけで満足できても…男はそうじゃないもの…
男は…体のつながりがないと…満足できない生き物よ…
女に子種を植え付けるって本能に抗えない生き物なの…
だからね…今貴方達がどれだけ思いあっていたとしても…
交われなければいずれ…終わりは訪れる。
きっと貴方がシルビアを裏切るわ。
交われる女を求めて…体が疼きだす。
大好きな女がいても…別の女のもとへ行く。
違うって否定したい…？僕とシルビアは大丈夫って言いたい？
どんなことがあっても…シルビアだけを愛し続けるって誓える…？

ふふふ…できるわけないのよ。

だってほら現に…今貴方はこうして…他の女におちんちんをしゃぶられて感じてる。

さっき一度イカされた。射精させられた…それも彼女の前で…そうでしょう？

本当に本気で、シルビア以外は求めないのなら…どれだけ魅了されていようと…

どれだけ力を使われていようと…抗えるわよね？射精なんてしないわよね？

不可抗力だから仕方がない…そんな思いがある時点で…絶対シルビアだけを愛するなんて…

シルビアに魅了の力があって交われない限り、不可能なのよ。わかる？

じゅるるるるるるる…

ほら…たまたまも舐めてあげる…

じゅぶ…じゅぶぶ…ほら…タマタマ…もうこんなに重たくなってる…

吐きだす精子を作ってる…舐めているのはシルビアじゃないのにね…？

ね？本能には抗えないの…わかるでしょ？

ほら…こっちのたまたまも…

じゅぞぞぞ…じゅぶぶぶぶぶ…♪

おちんちん震えてる…先っぽからカウパー液がだらだら垂れてるわ…♪

きもちいいんでしょ…？彼女じゃない女に舐められて…

じゅぶぶ…ちゅぶぶぶぶぶ…♪

屈辱？彼女の前で犯されてるのって…彼女への絶対の愛を否定されるって…

ふふふ。その絶望を感じながら…おちんちん固くしてるのね。

ほら、竿をれろ～んってしてあげる…

れろ～ん…れろ～ん…れろれろ…れろ～ん

カウパー液美味しい…しょっぱくて…温かいの

れろ～れろ～れる～♪じゅっぶ…じゅ…れろお～

ほら…亀頭をぱっくり咥えて…そのままカリ首じゅぶじゅぶしてあげる…

きもちいいでしょう…？こうしてカリ首を唇と舌でひっかかれるの…

ちゅぶ…ちゅぶちゅぶ…シルビアには今までしてもらえなかったわよね？フェラも…

魅了の力が入っちゃうから…貴方が狂っちゃうから…

でも今は…？気持ちいいけど…意識を保っているでしょ？

これは私が力を制御しているからよ？

私がシルビアと貴方を支配すれば…シルビアにもこうしてもらうことができるの…

おちんちん、舐めてもらうこともできるのよ…

私が支配すれば…二人は心のつながりだけでなく、体も繋がれるのよ…そうすれば
障害なんてないでしょ？…そう、思わない…？その上、シルビアの個性である魅了の力
で、普通にセックスする何倍も気持ちよくなれるの。

貴方も幸せ、シルビアも幸せ…

彼女を…これ以上苦しめたくないでしょう？

彼女に心から笑って欲しいでしょう…？彼女はいつも謝るんじゃない？
交われなくてごめんなさいって…こんな体でごめんなさいって…
その口をキスで塞いで…おちんちんおまんこに入れて…気持ちよく喘がせてあげて…
二人で幸せになりたいでしょう…？
ねえ…私に、支配…される方が…絶対幸せになれると思わない…？
じゅるるるる…ふふ…奥まで咥えてアゲル…
じゅぽぽぽぽぽ…じゅぶ…じゅぽぽぽぽ…ん…っ…おちんちんギンギンね。
亀頭がぷっくりして…もう出そう…
ほら…タマタマもみもしてあげる。もみもみしながらしゃぶってあげるわね。
たま揉みされながらフェラチオされて精液…出しなさい。
さあ、貴方の答えを聞かせて。
貴方が私の口の中で射精したら…支配されたいって意思表示ととるわ。
ほら、シルビアを見て…おちんちんしゃぶられながら、彼女を見て…
貴方のことを心の底から愛している彼女を…見て。
薔薇の十字に張り付けられた綺麗な彼女…
彼女を救いたいなら…SEXができなくて自分を責める彼女を救ってあげたいなら…
彼女に本当の笑顔をあげたいのなら…射精しなさい…
それとも我慢する？出さずにこれからも今まで通り悲しい思いをさせ続ける？
ねえどっち？…どっち？
ほら…じゅるじゅるってタマタマから精液上ってきたわ。
我慢する？出す？ほら？シルビアを見て…どうするの…？
彼女のために…出す？出す？精液出る？支配を求めて射精するの？
彼女のために射精する…？シルビアを救うために射精するの…？
そうよね、そうじゃなくっちゃ♪ほら、愛を誓うように射精しなさい。
磔の彼女の前で、誓いの射精よ。絶対幸せにするって…
いいわ。出して。ほら、シルビアを見ながら私の口に出しなさい♡
んんんんんんんっ…じゅぽぽぽぽぽぽぽぽ♪じゅぶ…じゅっぶ…じゅっぶ…
ごく…ごく…んふ…愛の誓いの白濁精子…ご馳走様♡
オーケー。彼氏君は支配を望むのね。
なら、お望み通り支配してあげる…。
ちゅっちゅ…ちゅぽ…♡
ふふ…。イイこ…。そうよね…女の子は幸せにしてあげないと…
変なプライドで彼女にこれからも辛い思いを強いることを望むなら…
射精を我慢しようとするなら魅了の力で意識まで奪ってあげただけど…。
合格。このまま2人とも、記憶も意識も残しててあげる。
ふふ…じゃあシルビアを下ろしてあげるわね。

彼女が起きたら好きに交わりなさい。もうおかしくなることはないわ。
そして満足できたなら…
いつでもいいわ。また後日、ここに書いてある場所にいらっしやいな。
ダークローズの本拠地に連れて行ってあげる。
じゃあね。

…何？ どうしてこのまま連れていかないのか…ですって？
ふふ…今日は二人の記念日なんでしょ？
記念日は二人で過ごしなさい。
じゃあね。お幸せに。

トラック 7：記念日 S E X

はぁ…大変だった。
気絶してる間のお仕事すっぱかしちゃったから看護師長から大目玉くらっちゃったわ。
おかげで記念日なのに残業までさせられちゃった…
時間、遅くなっちゃってごめんなさい。
それに…私が気を失っちゃったから…貴方に怖い思い、させたわよね。
ホントにごめんなさい。私達の戦いに巻き込んで…
でも…体調、良くなってよかった。お医者さまも意外とあっさり帰してくれたし…
入院の取り消しまで手配して下さって助かったわ。
根掘り葉掘り聞かれるかと思ったけど…何も聞かれなかったわね。
にが〜い顔はされたけど…
…それにしても…本当に私達…リディアに支配されてるのかしら？
何も変わらないように感じるけど…意識もはっきりしてるし…
貴方も普段通りに見えるわ。
それとも、既に思考が塗り替えられていて、変な思想になってたりするのかしら…？
でも、ダークローズは敵って認識には変わらないし…うーん…記憶も確かだし…
考えても、今の私達には自分たちが変わったかどうかなんて判断できない…のかしらね。
現に変身すると…んっ…やっぱり…バトルスーツの色は変わってる…
濃い紫…リディアの支配を受けてる…ってことよね？
うーん…？
まぁ…これ以上考えても…無駄かしら？
どう…する…？ リディアが言ったことが本当なら… S E X…できるのかもしれないけど…
やっぱり怖いし…やめておく？

正直…やっぱり敵の言うことなんて信じられないし…

エッチをした途端、意識を奪われたり…強い魅了の力が流れ込んで頭おかしくなっちゃう…なんてこともあるかもしれないし…

…え？信じるの？リディアの言うことを…？

どうして…？

…なんとなく？…なんとなくって…

ふふ…そんな真剣な顔して…。わかったわ。貴方がそういうなら…信じてみましょ。

正直、半信半疑どころか、それ以上に疑ってるけど…

本当に貴方と普通に交われるなら…その可能性があるなら…信じてみたい…もの。

んっ…ちゅ…ちゅば…はあ…

んっ…キス…は、普通にできてる…ちゅ…れろ…ちゅっ…ちゅ…

んっ…舌入れて…んっ…じゅぶ…ちゅ…じゅぶ…れる…れる…はあ…はあ…

どお…？平気…？んっ…ちゅ…じゅる…ちゅぶ…くちゅ…ちゅばあ…♪

はあ…はあ…顔…トロンって…してる…んっ…ちゅ…

でも…んっ…ちゅ…はあ…はあ…ちゅぶ…んっ…

いつもとは違うみたい…ちゅ…ちゅば…れろお…れる…れる♡んっ…んんっ…

はっ…きもち…んんっ…キス…きもちい…ちゅ…ちゅば…れろお…れろ…じゅるる♪

はあ…んは…変な汗もかいてないし…息も上がったりしてない…みたい…

…どう…？んちゅ…れろ…れる…そう。大丈夫…なのね。

んっ…ちゅ…じゅぶ…じゅるる…じゅぶ…

嘘みたい…んっ…ちゅ…れろ…はあ…私達…普通に…深いキス…してる…

ちゅ…じゅる…ちゅる…ちゅ…ちゅば…れろ…れろお…ちゅ…ちゅ♡

はあ…はあ…んっ…

んはっ…あ…胸…揉むの…？んっ…いいわよ…

はああ…んっ…ふにふに…揉まれながらキス…んっ…んんん…

あああ…きもち…んっ…ちゅば…ちゅ…じゅるる…じゅ…じゅ…はあ…ちゅば…れろお…

んんんっ…あああ…ダメ…形が出てきたからって…乳首…くりくりしちゃ…んっ…

ちゅば…ちゅっちゅ…らめっ…ひう…んあっ…ちゅ…じゅるる…じゅぶ…んんんっ…

ああ…おっぱい手でたぶたぶさせるの…らめ…んっじゅ…じゅるる…きもちい…

ちゅば…ちゅっちゅ…あ…おっぱい…服から出しちゃうの…？

んっ…ひあっ…ぽろんって…

出ちゃった…ちゅ…じゅるる…ちゅ…ああ…

え？乳首…舐めるの…？

い、いいわよ…あう…はあああっ♡ そんな…ちゅうちゅ吸っちゃ…んっ…

あああ…乳首固くなって…ふぐっ…あああ…気持ちよくて…濡れちゃう…あああ…！

え？どこが濡れるって…うう…そ、そんなの…聞かないでよ…んっ…はあっ…
決まってるでしょ…お…お…んっ…おまんこ、よ…うう…また恥ずかしい言葉言わせて…
そうよ…んっ…おまんこ濡れちゃうの…ああ…っ…吸っちゃ…乳首吸っちゃらめえ…
イク…乳首でイッちゃう… ひあっ…逆の乳首指でくりくりしながら吸うの…ダメえっ
そんなことしたらっ…気持ちよすぎて…イク…イっちゃうからあっあああ…じゅぷじゅぷ
吸いながら乳首くにくにだめえっ…イク…イク…乳首イキしちゃう…ふあっ…
あああああああ…！んあ…あ…あはあっ…んく…はあ…はあ…はあ…
んっ…え？ちょ…
うあ…ああ…指…入れるの…？おっぱい舐めながら…？
んう…で、でも…んっ…ああ！指…入って…くる…！あああああ！
んんんっ…！ああ…ダメ…指で膣の中かき回すのダメっ…ふっ…くうん…♡
あああっ…乳首吸いながらそんな奥…刺激するの…イヤア…！
な、何っ…クリトリス弄って…ひうっ…も、もしかして…り、リディアがやったことと
同じことをするつもり…？んっ…やああ！ちょっ…い、いつから貴方はそんな…
意地悪になったのっ…ひうっ…だめっ…クリトリスと中…一緒に刺激するのダメなの…
あああっ…Gスポ刺激しちゃ…ダメっ…あ、イク…イッちゃう…ふあ…
だめ…きちゃう…おっぱい吸われながらクリトリスと中で…全部でイッちゃう…
ふああっ…ああああああああああんっ…！くう…ふあ…あああああ…
んく…はあ…はあ…はあ…ちょ…もお…！な、何満足そうにしてるのっ…
いつもキスして愛撫するときは…魅了の力でもっと余裕なくて…
貪るみたいに…攻めてくるクセに…こんなエッチな…やり方…
え…服脱いで…おちんちん…出して…い、入れるの…？本気…？
で、でも…確かにいつもよりは大丈夫そうだけど…まだ中にいれるのは…
あっ…！お、押し当てたりしたら…！
ど、どこにつて…う…お、おまんこに…お、おまんこに押し当てたりしたら…
あ、愛液が…ついちゃうでしょ…ひあっ…そんな…さきっぱ…あっ…膣口に…
だめ…ダメよっ…やっぱりダメ…！まだやめておきましょう…！
そ、そうよ、少しずつにして…様子をみましょ…？
だ、だって…いきなり入れて…また貴方がおかしくなっちゃったら…私っ…私っ…
あっ…ダメ…入っちゃ…う…あああ…！ダメ…抜いて…お願いっ…ダメ…
あっ…ああっ…ダメ…ダメ…あああ…奥に…きちゃうううっ…！んあっ…
ああああああああああっ!!んぐう…あああっ…おちんちん…奥まで…
き…ちゃった…あっ…あっ…はあ…はあ…はあ…
…え？ぎゅって…抱きしめて…くれてる…の？
うそ… え？ 中に入れてるのに… 入れちゃったら…いつも…貴方…
意識なんてなくて… 私のこと…わからないくらい狂って…腰を振るのに…

抱きしめて…くれて…あ…あれ…？
んっ…ちゅ…ちゅ…ちゅば…はあ…はあ…んっ…れる…れろ…ちゅ…ちゅ…
はあ…はあ…はあ…嘘…嘘…みたい…
ちゅ…ちゅ…私達…ホントに…繋がってるのよね…？
私の中に…貴方の…入ってるのよね…？
嘘じゃ…夢じゃ…ないのよね…？
っ…んっ…ちよ…涙にキスするとか…ふふ…そんなキザなことしちゃうの…？ふふふ…
嬉しい…嬉しい…っ…ちゅ…ちゅ…はあ…んっ…ちゅ…
ぐすん…やっ…やっ…愛し合えるのね…私達…
すごく…すごく…幸せ…
幸せ…幸せよ…
大好き…大好きなの…
ちゅ…ちゅ…ふふ…
ちゅ…ちゅ♡ はあ…んっ…ちゅ…れろ…ちゅぷ…ちゅ…
あっ…動くの…？んっ…大丈夫…んっ…気持ちいい…んっ…んっ…はあ…んっ…
貴方のおちんちん…すごく熱くなってるの…わかる…んっ…んっ…はあ…んっ…
きもち…い…っ…はあ…んっちゅ…ちゅ…れろ…くちゅ…ふふ…
キスしながら…繋がれる日があるなんて…思わなかった…ちゅ…ちゅ…
幸せ…ちゅ…ちゅ…今私…世界で一番幸せよ…ちゅ…ちゅば…ちゅ…♡
んっ…んあっ…いいわよ…もっと動いて…んっ…ふっ…ふふふ♡
もう処女膜は破れてるのに…まるで…んっ…んっ…初めて…するみたいな気分よ…
んっ…ちゅ…ちゅ…はあ…んっ…んっ…
はあ…はあ…んっ…もっと…強くしても…大丈夫…んっ…んっ…
もっと…きて♡ 奥まで…んっ…奥までおちんちん…頂戴…♡ はっ…はあ…んっ…
あっ…あっ…あっ…♡ 幸せ…幸せよっ…もっと…もっと突いて…♡
んっ…くう…んっ…♡ はあ…あ…はあ…すごい…奥にばちゅばちゅ当たってる…
ああ…きもちい…今までのエッチで…一番気持ちいいよっ…んっちゅ…ちゅば…
幸せ…幸せっ…んっ…くう…あっ…いきそ…んう…中で…中でイキそ…
もっと…もっと強く…強く突いてっ…はう…あっ…くうっ…！
ああああっ…んんっ…イク…貴方の体…ぎゅって抱きしめて…イク…！
あっ…きて…中に…私の中に出して…っ…出して…貴方の…貴方の精液…
貴方の愛を…私の中に出してっ…んくっ…いく…イク…いっちゃう…
あ…ふああああああああああああっ!!…あっ…んく…きてる…
どくどくって…私の中に…貴方の…精液…いっぱい…流れて…はあ…はあ…はあ…
んっ…はっ…はあ…はあ…はあ…んっ…ちゅ…ちゅ…ちゅば…ちゅ♡
はあ…はあ…んっ…はあ…はあ…

ふふ…ふふふふふ…
気持ちよかった…
すごく…すごく幸せ…ちゅ…ちゅ…ちゅぱ…♡
大好きよ…ちゅ…ちゅぱ…
大好き…ちゅ…ちゅ…
愛してる…
ちゅ…ちゅ…ちゅぱ…♡ んっ…はあ…はあ…はあ…
んっ…はあ…はあ…
2年間もずっと…我慢させて…つらい思いをさせてごめんなさい…
これからは今までの分も…沢山…沢山重なりましょ…
これからも…ずっと…ずっとよろしくね。
…愛してるわ…♡ちゅ…♡

トラック 8：意思確認

…ねえ、私達はリディアの支配で今日…こうして交われることができたけど…
どう…しよっか…
ほら、リディアにもらった紙…
そう、それ。後日その場所にて言われたんでしょ…？
どう…思う？
私の意見を言ってもいい？
…うん。私はね…正直に言うと、リディアについていってもいいと思ってる。
…そもそも、ヒロインズに入ったのも…貴方と普通に性行為ができるようになりたいと思
ってのことだから…そこまで正義の味方…とか、魔法少女的なものに憧れていたわけ
でも、思い入れがあるわけでもないしね。
ヒロインズに入った時は、男性の意思を奪って性奴隷のように扱うなんて許せないって
思っていたけれど…必ずしもそうじゃないってことは、今日…リディアとのことで分かっ
たし…。
それに…私ね。私には…リディアがそんなに悪い人には思えなかった…のよ。
うーん、これはもう洗脳されてるのかしら？
何だか言っていることも…貴方にしたことも…筋が通っていて…
何って言えばいいんだろう…陥れようとしているようには思えなかった。だから戸惑った
の…すごく。…まあ、勘違いかもしれないけど。
後、これは完全に私の憶測だけど…リディアはもしかすると、私と同じ経験をしたことが
あるのかもしれない…って思ったわ。…随分ヒロインズに詳しいし…何より、リディアの
言葉には説得力と重みがあったの。あの人の言葉を聞いて…このままでは無理なんだって

妙に納得してしまったもの…。

あの病室…もしかしたら、昔リディアの好きな人が同じように…

…なんて、これは完全に私の想像よ。

でも…あの時のリディアは本当に私のことを考えてくれているように…そう、感じたの。

だから、私自身はリディアについていく、ダークローズに入ることに關しては

そこまで後ろ向き…というわけでもないの。

でもね…私は、何より…貴方のことが大切なの。

貴方のことは、世界で一番好きで…愛していて…大切にしたいと思ってる。

だからね…貴方が嫌だと思ふのなら、私はリディアのもとにはいかない。

ヒロインズの本拠地に行って、総帥に面会を願ひ出るわ。

総帥の力なら、この私達の中に入ったりリディアの力を何とかできるかもしれないし…

…どう、する？

…本当に？貴方もダークローズに入ることを望むの…？

そう…。

…でも噂だと、ダークローズは戦っても魅了の力を消耗しないために、ダークローズに引き入れた男性をメンバーの女性とSEXさせて、魅了の力を維持しているらしいわよ？

貴方も私も、別のひとと…SEXすることになるわ。…きっと。

それでも…いいの？

…それは嫌、よね♡ ふふ、そう言ってくれてよかった。

かる〜く「いいよ」って言われたらちょっと傷つくもの。

…でも私達から条件を出せる立場にはないと思ふし…そこは、ダークローズに入るなら覚悟を決める必要があると思ふの。

んっ…んんっ…ちゅ…ちゅぶ…くちゅ…れろ…じゅぷ…んっ…んんっ！

ちゅぶ…はあ…はあ…んっ…ちゅ…ちゅ♪ くちゅ…♡ …んっ…

んっ…抱き着いてくれるのは嬉しいけど…ちょっと苦しいわ♡

…大好き

大好きよ…。

愛してるわ…。

愛してる…

愛してるわ…

私は貴方だけ…

貴方だけを愛しているもの…

誓うわ。

例え他の男性と交わることになっても、それは力を得るためのただの行為。

愛のあるセックスは…貴方としかしない。

貴方にしか…愛してるって言わないわ…

私達の絆は、他の人と交わるくらいじゃ絶対に砕けない。

絶対よ…。

だから貴方も…どんなことがあっても、誰と交わっても…私のことを愛し続けて…

これからもずっと…私達が1つでいられるように…

心も体もずっと…ずっと1つになれるように…

んっ……ちゅ…ちゅぷ…くちゅ…ちゅ…じゅぷ…ちゅぷ…はぁ…んっ…

ちゅ…ちゅ♪ くちゅ…♡

愛してる…

愛してる

トラック9：全ては貴方と私のために

ここで…いいのかしら…メモにはここって書いてあるみたいだけど…

随分殺伐とした場所ね…何もない…

ここで待っていればいいのかしら…

リ：クスクス…ふうん…本当に来たのね。

シ：あ…

リ：律儀ねぇ…ちゃーんと来るなんて。そのまま来ないって選択肢もあったのに。

ヒロインズの総帥に頼めば私支配を解くことは、できると思うけど？

シ： それじゃあ、貴方は私がダークローズに入らなくても…このまま私の魅了の力を
制御し続けてくれるのかしら？

リ：…そんなわけないでしょう？

二人とも意志を内側から完全に奪って、奴隷のように服従させるまでよ。ふふふ…

シ：…でしょうね。私達には、もともと…選択肢なんてないもの。

私はこの人を愛していて…この人は私を愛してくれてて。

これからもずっと…重なりたいと思ってる。

心も体も…繋がりたいと思っているもの。.

リ：…そう。

シ：噂には聞いているわ。

ダークローズに入れば、彼とだけ重なれるわけではないのでしょうか？

彼も、私だけと…というわけではないのでしょうか？

リ：…そうね。

ダークローズは自分の魅了の力を維持しながらヒロインズと戦う必要があるの。

だから、ただ自分が持っている魅了の力を消耗させて、力を使い切れれば卒業…なんて
使い捨てのヒロインズとは違って、戦うための力を得る必要があるわ。

故に、彼氏君には他のメンバーとセックスしてもらう必要もあるし、貴女にも、
力の補充のために、ほかの男性と交わってもらうこともあるわ。

シ：…それは、絶対？

リ：…絶対よ。例外がないとは言わないけれど、
特定の相手のみじゃ交わる回数も限られるからね。
戦う力が弱くなれば他のメンバーの足をひっぱることになるもの。
そうってきたら…容赦なく例外を取り消すことになるわね。
お相手が余程絶倫じゃなければ…そうなるんじゃないかしら？

シ：…そう。

リ：…うふふ、怖気づいた？他の男性とは交わりたくない？
他の女性と彼氏君を交わらせたくない？
まあ、他の異性と交わるくらいで、貴方達の愛が壊れるというのなら…ふふふ…
特別に例外として扱ってあげてもいいけど？(笑)

シ：…いいえ。

リ：…あら。覚悟を決めた顔をしているのね。二人とも。

シ：私達は貴女がいなければ…

貴女に支配してもらわなければ、交わることができませんでした。

リ：…

シ：多分、きっと…昨日のことが無ければ…私はずっと、自分の体質を恨んで、恨んで、
…恨み続けていたと思います。

貴女が言った通り、私はずっと不安に思っていました。

彼が私から離れてしまうこと、セックスができないことで、仲違いすることを。

昨日、世界で一番大好きなこの人と…普通に交われて…愛し合えて…

世界が終わっても構わないと…そう思えるくらいに幸せでした…。

リ：…そう。

シ：これからもあの幸せを感じたい…私達二人とも、
貴女には、感謝しています。これ以上ないくらいに…

リ：…

シ：私達は貴女に救われたと思っています。

今までの私達も、これからの私達も全部含めて、

貴女に救って頂いたと…そうと思っています。

リ：…

シ：ですから、今日は2人でお願いに来ました。

シ：…リディア様。私達を…ダークローズのメンバーに加えて下さい。

リ：…

シ：私…シルビアは…以後、貴女に、リディア様に絶対服従を誓います。

貴女様の仰る言葉、行動、思想、全てを受け入れ支持することを誓います。

…ですから。

リ：…

シ：ですから…どうか、私達を…このまま、支配し続けて下さい。

彼と、交わり続けられるように…

リ：…いい子ね。シルビア。貴方も。

歓迎するわ。シルビア。そして彼氏君。

貴方達の力を、私に…ダークローズに貸して頂戴。

シ：…はい、リディア様。…ありがとうございます。

トラック 9：病室エッチ

は〜い、じゃあ体温、計りますよ〜。腋に体温計、挟んで下さいね〜。

…まったく…ダークローズに入ってセックスできるようになったのはいいけど…はぁ…
もちろん、ダークローズに入るにあたって、他の人とセックスすることは仕方ないと思っ
てるわよ？リディア様からもそれは最初に言われて納得してるし。

でーも…

他の人達とセックスしすぎて熱を出す…っていうのはいただけないわね？

聞いたわよ〜？貴方、他のメンバーの人5人の力を補充するって名目で、1日中お風呂場
でハーレムセックスしてたんですってね？

1日中裸でお風呂場セックスなんてしてたら、そりゃ熱も出るわよ。

リディア様に報告したら、苦笑いされてたわよ、もう…

貴方が他のメンバーにも人気があるのはわかってるし、それは少し…鼻が高いけれど、
…そういう問題ではなくなっただけね。

…はいはい、有無を言わず連れていかれたのね。わかってるわよ。

貴方ってば断わるのホント苦手よね。いつも好きにされちゃって…

もうちょっと自分の体のことや…私のことも考えて欲しいわ？

私とはちよっとご無沙汰じゃない？そろそろ拗ねちゃおうかしら？

…ふふふ。冗談よ。…でも…

ちょーっとお仕置きが必要かしら？

ぶすっと太〜いお注射でも…しておく？お、し、り、に♡

ふふ、慌てすぎ。冗談よ。まったく…

でーも…

こういうお仕置きは…しちゃおうかしら…？

ちゅ…ちゅ…れるる…れるるう…ぐちゅ…ちゅぱあ…ちゅっちゅ…♡

ほおら…じゅぷ…じゅるる♡ ぐちゅ…ぐちゅう…じゅるるるる…くちゅ♡はぁ…

まだまだこんなじゃ許してあげない♡ んっ…じゅぷ…じゅぷ…くちゅ…♡
ふふ…おちんちん、固くなっちゃった…♡昨日沢山出したんでしょ…？
熱が出ててもここはこんなに元気なの…変ね？ 私の魅了の力のせいかしら？
ふふ…服をずらして…手で扱いてあげる…
ほーら、続き♡今度は表面を憐れみたい舐めてあげる♡
はああ…♡ くす♡ おちんちんガチガチね…それにほら…
カウパー液がこんなに垂れてる…もう我慢できないの？
私の手…もうぬるぬるよ♡ ペろ…ちゅ…ふふ…ちょっと塩辛い♡
ほおら、ちゃーんと我慢してね。ここ、病院よ？ふふふ…
あらあら、出ちゃいそうね？たまたまぎゅるぎゅる言ってる…♡
腰もびくびくさせて…まだ、だ め ♡
んふ♡お仕置きって言ったでしょ？もう少し我慢してもらおうわよ？
じゃあ…胸をはだけさせて…
んっ…ふふ…ナース服から胸を出すなんてエッチなこと…初めてしちゃった♡
なんだかとってもイケナイ気分♡ ほおら、患者さん、お薬の時間ですよ♡
口移しで飲ませてあげます♪ ふふふ…跨っちゃいますよ～♡
よいしょっと…
ほら、お薬口移しよ…んっ…じゅる…じゅぷ…じゅぷじゅぷ…♡
じゅるる…じゅぷ♡ じゅぷぷ♡ んっ…ごく…ごく…ごく♡ちゅ…はあ…♡
お薬ちゃんと飲めました～♡ 偉いですね～♡
じゃあ次は～清拭ですよ～♪お体の汚れたところ、綺麗に拭いていきましょうね～♡
こっちのお耳はさっき綺麗になったから～次はこっちのお耳ですね♡
じゃあこっちのお耳、綺麗にしましょ♡私の唾液で♡んっ…じゅる…じゅるる…
はああ…♡ もう少し奥も綺麗にしましょね～♡
ん～…じゅぷ…ちゅ…じゅぽ…じゅぽぽ♡ ぐじゅる…じゅるる…じゅぷ♡
はあい、お耳綺麗になりました♡
じゃあ次は…乳首を綺麗にしましょね～♡ここは汚れが溜まりやすいですから♡
ん～♡
ちゅぷ…ちゅぱ…れろ…れろお～…ふふふ…乳首コリコリしてきましたね♡
こんなに早く勃起しちゃうなんて…エッチな患者さんですね～？じゅぷ～♡
舌で転がすようにこうして舐められるの…んっ…れ～…きもちいいんですかあ？
だめですよ？これはエッチなことじゃなくて…乳首のお掃除なんですから…ふふふ
じゅぷぷぷぷ…ちゅぱあ♡はあ…はあ♡
はあい、こっちの乳首は綺麗になりました～♡じゃあ次はこっちですね♡
ちゅぷ…じゅぷ…ちゅぷぷぷぷ…あらら？こっちは触ってないのに…勃起してますね？
随分感じてるんですね？どうされたんですか～？ふふふ

はあ…はあ…こうやって…歯で甘噛みするみたいにくにくにされると…感じるんですか？
いけませんね？お掃除なのに感じちゃ…ふふふ…
じゅぷうううう♡ちゅばあ…♡ん…はあい、乳首、綺麗になりましたよ～♡
って…あらあらあら…おちんちん大洪水ですね？
カウパー液垂れすぎですよ♡こんなに汚しちゃだめじゃないですかあ…
まあ…こんなぬるぬるにして…イケナイ患者さん♡
私のおっぱいで綺麗に拭いてあげますね♡
んっ…ふふふ…んっ…すっごい…ぬるぬるですよお…？
私のおっぱい…べしょべしょのぬれぬれです♡こんなに汚して…ダメじゃないですか♡
んっ…んっ…いけませんね～…すっごい音までしてます…やらしい音…んっ…んっ…
はあ…はあ…♡私のおっきなFカップおっぱいだからお掃除できますけど～…
普通はこんなお掃除してもらえないんですからね？わかってます？
ふふふ♡んっ…んっ…んっ…ん♡
あらあら、私の大きなおっぱいでもぬぐい切れないなんて…どれだけ出してるんですか～
こうなったら…お口でも綺麗にしなきゃですね。んっ…んっ♡
まったく、困った患者さんですね～…んっ…はむ…♡
んじゅ…じゅ…じゅぷ…んっ…んー♡
どうしたんれふか～？そんな…んっ…必死にシーツ握りしめて…♡んっ…
もう…んっ…じゅぷ…出ちやいそうですかあ♡んっ…じゅぷ…じゅぷ…んっ…♡
駄目ですよ…我慢、我慢です…ふふふ…♡じゅぽ…♡
んはっ…はあ…はあ…♡あらあら、もう限界みたいですね～？
先っぽの穴がヒクヒクして…射精したそう♡ふふふ…
彼女を差し置いてのハーレムエッチでイキすぎたおちんちん…少しは反省したのかしら？
…よろしい♡じゃあ～ちゃんとして反省できたご褒美に～
貴方の大好きな大好きな彼女のおまんこでイカせてあげる♡
ナース服でエッチは初めてね♡ふふ…誰か来ちゃったら困るから…声は抑えましょうね♡
ほおら…じゃあこのもう射精ギリギリのおちんちんを…
もう濡れ濡れで準備万端な彼女おまんこにいれ…て…んっ♡フィニッシュさせてあげる♡
ずぶずぶずぶ…って…入って…あっ♡あっ…あは♡んっ…全部入ったあ♡
すごおい…もうビクビクして…ちょっと動いたら射精しちやいそう♡
でももう少し我慢よお…♡私も気持ちよくなりたいんだから♡
久しぶりの貴女のおちんちん…堪能させてよ♡
…さ、私が上で動いてあげる♡んっ…んっ…♡
はああ…しゅご…♡いい…♡久しぶりの君のおちんちん…イイ…♡
やっぱり貴方が…一番いいよ…♡んっ…はっ…んっ
はああ…私も…んっ…他の人としなきゃ…だけど…やっぱり、貴方ががいい…♪

ふふ…だって…幸せだもの…♡

他の人とのエッチは…んっ…んっ…魅了の力を得るためのただの行為だけど…んっ…

貴方との…違うから…♡んっ…んっ…

ちゅば…はあ…はあ…んっ…んっ♡やっぱり…幸せ…♡君とエッチできるの…♡

幸せ…幸せよ…♡

はあ…はあ…ふふふ…ねえ…大好きよ…んっ…んっ…ちゅ…愛してる…ちゅ…ちゅば♡

愛して…るっ…♡んっ…んっ♡

はあ…はあ…！イク…♡貴方のおちんちんでイク…♡

ねえ…出して…♡貴女の…大好きって…愛してるって証を…♡

他の女の人の出す精液とは別の…♡愛が…いっぱい詰まった精液…♡

んっ…んっ…♡私だけの…貴方の…愛が…いっぱい詰まった精液…♡

中に…中に出してっ…♡

あぁっ…きてっ…きて…♡ 私のこと愛してるって…私だけを愛してるって…

熱い射精で教えてっ…♡あああ…イク…イクイクイクイクっ…!!

ふああああああああああああ♡んあっ…あっ…あああ…ああ♡

はあ…はあ…はあ…♡んっ…あああ…熱い精液…中に…いっぱいきてるう…♡

ふふ…すごい…まだ止まらない…♡はあ…はあ…はあ…んっ♡

ふふ…すごおい…きもち…い♡はあ…んっ

ちゅ…ちゅ…ちゅ♡ くちゅ…ちゅるる…ちゅぷ…♡

はあ…幸せ…♡

ふふふ…これからもずっと…ずっと一緒よ。

愛してる…♡ ちゅ…♡